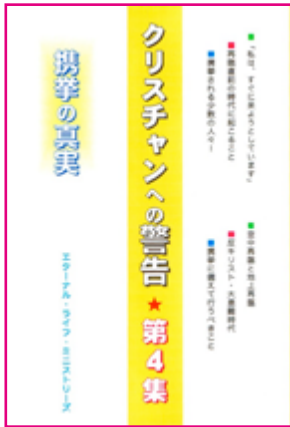


《おすすめの本》 **クリスチャンへの警告 第4集** 携挙の真実

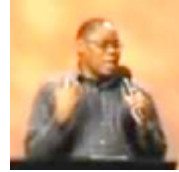
■イエス・キリストの再臨と聖徒たちの携挙が非常に間近であることが、今や世界の多くの聖徒たちに啓示されています。
携挙されることを願うすべてのクリスチャンに本書を心よりおすすめします！



第一部 イエス様の『手のひら』の中 [2005年5月1日]

ホリー・L・ムーディー (アメリカ)

◆主の御手の中の人々 / 激しい嵐 / えこひいきのない神の裁き / 裁きの前に告知される警告



第二部 携挙される少数の人々

[2010年・2014年12月] アンジェリカ・ザンブラーノ (エクアドル)

◆携え上げられる人々・残される人々 / 教会内で忘れられている戒め / アンジェリカ・ザンブラーノ『私の教会の状態』 / 天国の被造物 / 主の再臨 / 霊的闘い / 沈黙していないでください / 「行って、人々に告げなさい」 / 神は愛してくださいました / 彼は生きておられる / 証し / 神は赦してください / 神の愛を体験する / イエス様はあなたの内に入ってください！

第三部 携挙の体験・携挙後の荒廃した世界

[2015年2月10日]

クラリス・ベルゼ・ヌエダ (フィリピン)

◆空中に携え上げられた少数の人々 / 携挙されなかった人々 / 携挙された物乞いの老人 / 戦争の開始・社会の荒廃

第四部 私は携挙されなかった！

ラウが見た携挙の夢 (インドネシア)

第五部 「私はあなたを連れて行かないはずです」

ジョン・ムリンデ (ウガンダ)

◆私の名前を呼ぶ声 / 「もし私がきょう、私の花嫁を迎えに来ていたら…」 / 「そんなことが私に起こることはありません…」 / 心を調べられる主 / 私の前に映し出されたこと / さらけ出されたこと / 神が奇跡を行われる理由

第六部 90歳の女性が見た再臨直前の時代・世界戦争 [1968年]

ノルウエーのバルドレス出身の90歳の女性

[記者…伝道者エマヌエル・ミノス師]

◆四つの波 / 世界戦争・空気と水の汚染

第七部 携挙・大患難の時代

[2012年12月～2015年3月25日]

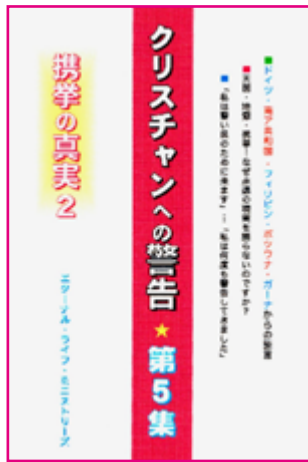
オスツェ・ムシ (ボツワナ共和国)

- 2012年12月の幻 地獄 / 突然の携挙
- 2013年2月16日(土)の幻 迷い出た教会
- 2013年2月22日(金) 患難時代の幻 / 世の教えを学ぶのに多忙な人々 / 携挙後の時代・幽霊の出現 / イエス様の御名が効かない時代 / 獣の刻印…赦されない罪
- 2013年2月26日(火) 携挙・大患難・神の聖さについての幻 / 「あなたは携挙され得る人でしょうか? / 大患難時代のクリスチャンへの迫害 / 地上で地獄を経験すること / 父なる神とイエス様 / 神の聖さ・清らかさ
- 2013年3月5日(火) 携挙体験 / 空中に上がって行く大ぜいの聖徒たち / 天国への旅路 / 霊的宇宙と物理的宇宙 / 天国の神の御座 / 天国の家の前で / 地上の幸せを

百万倍したもの! / 携挙の日の体験

- 2013年4月11日(木)の幻 残されたクリスチャンたちへの激しい迫害
- 2013年4月27日(土)の幻 地上から携挙される人々 / 太陽より明るく輝く都
- 2013年5月9日(木)の幻 人造人間・ニュー・ワールド・オーダー / 軍事関係者と科学者たち / 軍服を着た「人造人間」たち
- 2013年12月17日(火) イエス様の来訪と幻 / 高い所を飛び続けること / 宣べ伝えるべき天国と地獄と携挙のメッセージ
- 2014年1月9日(木)の幻 聖い生活をしている人々だけが携挙される!
- 2014年 終わりの時代についての幻
- 2014年 患難時代についての幻 / 異星人たちによる誘拐・大きな宇宙船 / 主のためにすべてを放棄すること
- 2014年1月14日(火)の幻 / 猛スピードで空に飛び立つ馬車 / 「それらのものを私にゆだねなさい」
- 2014年の幻 / 携挙に備えて行うべきこと
- 2014年2月18日(火) 患難時代についての幻 寂しさ・闇・恐怖・悲鳴
- 2014年5月28日(水)の幻 / 反キリストと世界のリーダーたち
- 2014年9月4日(木) テレビによる悪霊の抑圧 / 不道徳による墮落
- 2014年10月2日(木) 地獄への訪問・獣の刻印
- 2014年11月11日(火)の幻
- 2014年12月8日(月)の幻 / 金の王座に座っておられた方
- 2015年2月9日(月) / 携挙の時に地上で起きること / 地上の人々が感じること / サタンの新たな計画 / 火の池 / 天国の驚くべき生き物
- 2015年3月18日(水) / 大いなる恐怖・大いなるパニック / 世界戦争・経済の大崩壊 / 反キリスト…世界史上、最も邪悪な独裁者の出現
- 2015年3月25日(水) 天国の御座の部屋 / 主が語られた二つの重要なこと
- 携挙(空中再臨)と地上再臨の対比

《おすすめの本》 クリスマンへの警告 第5集 携拳の真実 2



■ イエス・キリストの再臨と聖徒たちの携拳が非常に間近であることが、今や世界の多くの聖徒たちに啓示されています。
携拳されることを願うすべてのクリスマンに本書を心よりおすすめします！

第一部 「私は聖い民のために来ます」 [2010年～2013年9月]

天国・地獄・携拳・患難時代…7歳の少年ジュアン・ヒューゴの証言(南アフリカ共和国)
記者…アデレ・バツソン(ヒューゴ少年の母)

- 2010年10月の体験 / 地獄にいる人々を見た三歳の男子 / イエス様との天国訪問 / 天国で見た自分の家 / アブラハムやダビデを見る / 曾祖父との出会い / イエス様の御座 / 父なる神との対面
- 2011年1月の体験 / 天国で受けた洗礼・異言で話し始めたジュアン少年
- 2011年5月の体験 / 狭い道と広い道 / 地獄への訪問・地獄にいた大ぜいの子どもたち / 天国への訪問・イエス様の間近な再臨
- 2011年8月18日の体験 / イエス様の前で震えていたサタン / 携拳されなかった人々・建物の倒壊 / 悲鳴を上げて走り回る人々 / 「私はまもなく来ようとしています」
- 2012年9月の体験
- 2013年9月29日の体験 / 「マミー、本当よ、イエス様はすぐに来られると言われたのよ」

第二部 携拳の証し [2015年5月23日]

クラリス・ベルゼ・ヌエダ(フィリピン)

第三部 ケニヤ人の少年の携拳についての幻

第四部 最後の裁きの場所に立った夢

私の人生で最も恐ろしかった瞬間 ジェームズ・Z

御座の前 / ショックと恐怖 / 神の言葉を真剣に受け留める事

第五部 「私はまもなく来ようとしています」

[1981年～2009年9月]

ペロニカ・ウルリケ(ドイツ)

- 1981年6月13日の体験 / 雷に打たれる / 『地獄によろこ』 / 拷問・悲鳴・恐怖 / 「あなたが見たことを伝えなさい」
- 2002年7月7日の体験 / 私はまもなく来ようとしています
- 2005年8月の体験
天国に携拳される大ぜいの人々 / 携拳後の世界
- 2009年9月11日の体験
第二の天と第三の天 / 携拳の前の伝道と救い
- 聖書に書かれているすべてのことを語るべき牧師たち

第六部 携拳・天国・地獄

[2010年～2015年6月1日(月)]

オスツェ・ムシ(ボツワナ共和国)

- 2010年の幻 / イエス・キリストとの対面 / イエス様は肉において現された神であられる！
- どんな状況でも示すべき愛と従順 / 数々の幻 / 私の顔から発散していた琥珀色の光 / 白い馬の騎兵隊 / サタンの前にひざまずいている牧師たち
- 2013年6月1日(土)の幻 / 私は面と向かってイエス様を見た！ / 「あなたは携拳の日のために用意ができていますか？」
- 2014年3月20日(木)・31日(月)の幻
- 2014年5月31日(土)の幻 『罪のある人々は地獄に行くようになる』 / イエス様の手足・釘の跡
- 2014年6月8日(日)の幻 情欲の霊・その解放
- 2014年6月12日(木)の幻 / 大集会での聖霊の訪れ
- 2014年6月の幻 神の力強いわざ・創造的奇跡
- 2014年6月18日(水)の幻
清らかな聖霊を見る / 地球へと出て行く戦いの天使たち
- 2014年11月1日(土)の幻
大混乱の世界・悲鳴を上げて走る人々
- 2014年11月の幻 結婚生活を破壊する悪霊
- 2014年11月4日(火)の幻 火と硫黄の燃える池
- 2014年11月6日(木)の幻 日蝕・地上にかかる闇
- 2014年11月12日(水)の幻
永遠の現実を語らない説教者の死
- 2014年11月28日(金)の幻 / 天国で見かけた意外な人々 / 地獄で見出すことになるクリスマンたちと牧師たち
- 2014年12月24日(水)の幻 / 終わりの時代まで地上に來なかった天使たち / クリスマンへの恐ろしい迫害
- 2015年1月8日(木)の幻
救いを拒んではならない / 裁きについて語られた神
- 2015年1月27日(火)の幻 / 大きな赤色の炭火の穴 / 「これは地獄だ！ これは地獄だ！」 / 教会に通っている不信者たち / 主の再臨直前に解き放たれる特別な天使
- 2015年3月23日(月)の幻 / サタンが千年間投獄されることになる場所 / 悪魔と悪霊どもが経験している恐怖
- 2015年4月1日(水)の天国と地獄への訪問 / 聖霊にゆだねた時 / 第三の天 / 天国にいた聖徒たち / イエス様との対面 / 地上再臨の時に使われる無数の馬 / 天使たちの賛美と踊り / 宝石のようにきらめく都 / 聖徒たちの邸宅 / 邸宅の入居者名の変更 / 地獄についての幻 / イエス様が私にゆだねられた三つのメッセージ
- 2015年4月28日(火)の幻 / 携拳…地球からなくなった真の教会 / 「私が来るのを待ち望んでいなさい」
- 2015年5月11日(月)の幻 / 私の家を訪れた牧師 / 「なぜ『天国』『携拳』『地獄』『聖さ』を語らないのですか？」 / 神に従っていないまま解放の働きをする人 / 巨大な火の炎 / 「私は彼に何度も警告してきました」 / 牧師の責任 / 真実を語ること / 「私はいつもあなたといっしょにいます」 / パラダイス / 本当は救われていない人々への伝道 / 人々を悪霊の束縛から解放すべきこと
- 2015年5月28日(木)の天国と地獄への訪問 / 死後の命について本当の真理を教えなかった教会と奉仕者 / 「おまえを殺してやる！」 / 神の御座の部屋に入る条件 / 私はケネス・E・ヘーゲン師と会った！ / ルシファー(サタン)の崩落と捕縛
- 2015年6月1日(月)の地獄訪問 / 私は地獄に案内された / 「私はクリスマンだったのよ！」 / だまされている人々 / 携拳が起きてから目を覚ます人々 / 「私はこれを見ることができません」 / 新しく生まれ変わって正しい生活をする事

★2015年5月28日、私は天国でケネス・ヘーゲン師と会った！

2015年5月28日(木)の天国訪問 オスシツェ・ムシ(ボツワナ共和国)

オスシツェ・ムシ師は2010年以降、天国・地獄に幾度も案内され、イエス・キリストの再臨、携挙、終わりの時代などについて多くの啓示を受けています。同師の体験の詳細は、「天国の真実 第1集」・「天国の真実 第2集」・

「クリスチャンへの警告 第4集 携挙の真実」・クリスチャンへの警告 第5集 携挙の真実2」をお読みください。

●2015年5月28日(木)

「夜、神は私と私の妻を異言の祈りに導かれました。祈りの後、神は私を数々の幻の中に案内されました。午前2時ごろ、聖霊が来られて私を満たされ、私の霊は私の体から離れました。

それから私は大気を高速で通過し始めました。私は風が私のほうに吹いて来るのを感じました。

それから、火のような天使が見えました。彼の体と服は燃えるように輝いていました。彼には火のような翼が二つありました。火花も存在しました。私たちは壁やいろいろな物を高速で通って飛んでいました。…(中略) その後、私はその天使といっしょに、宇宙のてっぺんのほうへ飛びました。第三の天が見えました。…(中略)

私はケネス・E・ヘーゲン師と会いました。

彼は、預言のミニストリーについて、あることを私に教えてくれました。…」

(『クリスチャンへの警告 第5集 携挙の真実2』より抜粋。詳細は同書をお読みください)

《おすすめの本》 聖霊を受けるための七つのステップ



■本書は、聖霊に満たされることを初めて求める人のために、具体的に必要とされる七つの必須ステップを教えているだけではありません。

聖霊に満たされた経験がすでにある人にとっても、「御霊による祈り」についての理解と認識が深められ、今までよりもっと多くの時間をかけてこの祈りをするよう促される本です。

《目次》

●第一章 聖霊を受けるための七つのステップ【第一ステップ】～【第七ステップ】

●第二章 すべての信者が異言で話すべき理由【理由1】 異言が最初のしるしである

【理由2】 異言は自分を霊的に築き上げるものである【理由3】 異言は御霊の内住の御臨在を私たちに思い起こさせる【理由4】 異言の祈りは神の完全なみこころと合致した祈りである【理由5】 異言の祈りは信仰を鼓舞する【理由6】 異言で祈ることは、世的な汚れから守る一つの手段である【理由7】 異言の祈りは自分が知らない事態のために祈れるようにする■知らない事態のためになされた異言の祈り(事例1) ■知らない事態のためになされた異言の祈り(事例2) ■知らない事態のためになされた異言の祈り(事例3)

【理由8】 異言の祈りは、霊的リフレッシュをもたらす【理由9】 異言で祈ることにより、感謝を完璧にささげることになる【理由10】 異言で話すことは、舌を服従させることになる ●公の場での異言/預言することは説教することではありません/聖霊についての偽りを25年間説教してきた人/異言を話すのは聖霊ではなく人間です/ケネス・E・ヘーゲン師を通しての異言と解き明かしのメッセージ

●第三章 聖霊を受けるための聖書の方法/「神を待ち望むこと」と「聖霊を待つこと」のちがい/ペンテコステの日から変化したこと/聖霊を受けたバプテスト派の牧師・メソジスト派の牧師/御霊を毎日「飲む」こと/人間が作り出す愚かな考え/聖霊を受けるために三年待つ必要はありません/愛によって歩むために必要なこと/私が「愛による歩み」を選び取った出来事(4)



《おすすめの本》 愛は決して^{すた}廃れることがない

■著者ケネス・E・ヘーゲン師はこう述べています。「生まれながらの愛を行使する人間は、自分自身のことを気にしており、『そのことには、私のためになることが何かあるだろうか?』と考えるのです。このことは、クリスチャンたちの間でも見られます。救われている人々、福音の奉仕者たちでさえ、そういう生まれながらの考え方をすることもあります。

みなさん、私たちは神の国のためになることを喜びとすべきです。神の家族のためにも、そうすべきです。私たちは、神の非利己的な愛が私たちを支配するようにすべきです。…」

《目次》

●第一章 愛…御霊の最初の実/聖霊のゆえに結ばれる、人間の霊の実/枝で結ばれる実/救いを自覚させるもの…愛/クリスチャンに現れる最初の実…愛/成長させていくべき、自らの愛の性質/神の家族・愛の家族/「愛」を誤解していた牧師たち/愛についての正しい理解

●第二章 愛は義母との問題にも関係します/義母を憎んでいた牧師夫人/憎んでいる人は救われてはいません!/一新されていない頭の考え・肉の性質/罪深い者たちであった私たちへの神の愛/利己的な「母の愛」

●第三章 『人間的な愛』対『神の愛』/ある女性ピアニスト/これは愛ではありません/生まれながらの利己的な愛/教会の分裂をもたらしてきたもの/神の愛の特徴/自分の権利にこだわる人/自分の愛の測定法

●第四章 愛の章/私が人々に勧めている事/私についての「うわさ話」/本当の強さとは?/愛の歩みに失敗する人/愛は悪を勘定に入れない/愛は、できます/愛は一人一人の最善を信じる/耳に『汚物用バケツ』が付いている人/愛は決して失敗しない

★オスシツェ師の顔が光った！

オスシツェ・ムシ師は2010年以降、天国・地獄に幾度も案内され、イエス・キリストの再臨、携挙、終わりの時代などについて多くの啓示を受けています。

彼はこう述べています。

「私が主にある私の兄弟といっしょにいた時、ちらりと下のほうを見ました。

とても驚いたことに、主の栄光が目に見える光として私の顔から発散しているのが見えました。

私の顔の周りに琥珀色の光が輝いているのが見えました。それは、金色や黄色や赤みがかった色が混じり合った色で、ある天使たちの色に似ていました。

それは非常に美しいものでした。

そして、この時、私は、開かれた幻の中で、私の肉眼でこれを見たのです。…」

(『クリスチャンへの警告 第5集 携挙の真実2』より抜粋)

● イエス様の御顔が太陽のように光った！

イエス様が十字架に付けられる前、モーセおよびエリヤとお会いになり、父なる神の御声が語られた際、御顔は光を放ちました。

■「イエス様はベテロとヤコブと彼の兄弟ヨハネを連れ出され…高い山に上られた。すると彼らの前で彼は御姿を変えられ、彼の御顔は太陽のように光を放ち、彼の着物は光のように白くなった」(マタイ17・1、2)

イエス様は復活後、ヨハネに御姿をお示しになった時も、御顔は太陽のように輝いていました。

■「彼の御顔は太陽のようで、彼の御力によって輝いている」(黙示録1・16)

● モーセの顔が光った！

モーセは二枚の石板を持ってシナイ山に登り、神とお会いし、神と話しました。こう記録されています。

■「彼はそこに、ヤーウェとともに四十日四十夜いた。彼はパンを食べず、水も飲まなかった。

そして彼は石板の上に契約の事ば、十の事ばを書いた」(出エジプト記34・28)

彼が山から降りて来た時、彼の顔の皮膚は光を放っていました。

■「モーセはシナイ山から降りて来た時、彼と話したことで自分の顔の皮膚が光を放ったことを知らなかった。

アロン、および、イスラエルのすべての子らはモーセを見た。すると、見よ、彼の顔の皮膚は光を放っていた…彼らは彼に近づくのを恐れた」(出エジプト記34・29、30)

■「イスラエルの子らはモーセの顔を見た。モーセの顔の皮膚は光を放っていた。そしてモーセは、彼と話するために行くまで、自分の顔の上に覆いを掛けていた」(35節)

● ジェシー・デュブランティス師の顔が光った！

1988年、アメリカ人の伝道者ジェシー・デュブランティス師は天国に案内され、神とお会いし、イエス・キリストの再臨について宣べ伝えるべきことを告げられました。彼はパラダイスで、美しい花、子どもたち、馬や犬や猫などの動物も見ました。彼はイエス様とお会いし、ダビデ、パウロ、ヨナたちとも会い、そして神の御座にも案内されました。

そして、イエス様は彼にこう言われました。

「行って、私の民に、私がかようとしてしていると告げなさい」この天国訪問は、地上の時間では午後1時から午後6時15分までの5時間15分間でした。

その日の午後6時45分に、ある人が来て、デュブランティス師を車に乗せて教会へいっしょに行くことになって

いました。その人は、ふだんはよくおしゃべりする人なのに、この時、運転中は一言も言わず、ただデュブランティス師を見つめてばかりいました。

教会に着くと、人々がこう言い始めました。

「ジェシー先生を見て！ 光っているわ！」

彼の顔は光っていました。

その晩、彼は何も説教しませんでした。人々は神の御霊の御力の下で倒れ始めました！ ("Heaven, Close Encounters of The God Kind", Jesse Duplantis)

● ディビッド・E・テイラー師の顔が光った！

■ 彼は大学生の時、三日間の断食をして祈りました。断食を終えた翌日、教会員たちを聖会に車で送る奉仕をしました。その時、ゲスト・スピーカーが現れず、急遽、彼が説教を頼まれました。説教が終わってから、彼はこう告げられました。

「あなたの周りに栄光の雲が見えました！

あなたの顔は電球のように光っていました！」

■ 彼が大学のキャンパスで20人ないし30人の人々に聖書を教えていた時、彼の両手も顔も皮膚もネオンライトのよりに光り始めました。

人々はびっくりし、彼のところに来てこう言いました。

「あなたは光っています！ あなたは輝いています！」

■ 1993年、彼は三日間、断食して祈り、主との時間を過ごしました。三日後、彼の母が訪れました。彼女は彼を不思議そうに見つけていました。彼女は彼がごう慢にならないよう配慮して、その時は彼に何も言いませんでした。

ところが、彼が母といっしょにファーストフードのレストランに行くと、レジ係の人や店のお客たちも、彼を不思議そうに見始めました。人々はこう言い始めました。

「彼の顔を見て！ 白く光っている！ 輝いている！」

ディビッド・E・テイラー師は17歳の時から幾度もイエス・キリストとお会いしており、現在も、「しるしと不思議と力あるわざ」の伴う伝道活動を続けています。

彼は2000年に天国を訪れた際、キャサリン・クールマン師と会って会話を交わし、彼女から貴重な教訓を受けました。(HP キャサリン・クールマンのミニストリー参照)

● 神が与えておられる「しるしと不思議」

モーセの顔の皮膚が光を放っているのを見たイスラエルの民は、確かにモーセが神とお会いし、神と話し、神の御臨在に触れたと認識したはずで。

そして、モーセが神から告げられたことにしっかりと耳を傾け、告げられたことばを守ったことでしょう。

今日も、神は同じ栄光に満ちておられる神であられます。今日も、モーセの場合と同様に、神の御臨在に触れた「神の人々」が、神の栄光の光で顔から光が放たれることがあります。

神の民は、確かにその「神の人々、聖徒たち」が神とお会いし、神と話し、神の御臨在に触れたと認識することでしょう。そして、彼らが神から告げられたことにしっかりと耳を傾け、告げられたことばを守ることでしょう。

マルコ16・20は、こう述べています。

「その人たちは出て行ってあらゆる所で宣べ伝え、主ともに働かれて、伴うしるしを通してみことばを確かなものとされた」

現代でも神が数々の「しるし」また「不思議」を現しておられることを、私たちは心から感謝しようではないでしょうか？

そして、今、神が聖徒たちを通して告げておられるメッセージと警告に耳を傾けようではないでしょうか？